



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月29日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2894 URL <https://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務統括部財務マネージャー (氏名) 松本 英士 TEL 047 (774) 8748
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,664	△2.3	△118	—	△117	—	△130	—
2019年3月期第2四半期	4,775	△2.1	△39	—	△45	—	△42	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △148百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△7.75	—
2019年3月期第2四半期	△2.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,319	3,556	48.6
2019年3月期	8,364	3,755	44.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,556百万円 2019年3月期 3,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.1	100	—	100	—	50	—	2.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	18,392,000株	2019年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,514,996株	2019年3月期	1,514,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	16,877,004株	2019年3月期2Q	17,505,029株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く環境は、国連気候変動サミットの開催を受け、環境問題に対する消費者の関心がさらに高まり、「持続可能な社会を創る」ための取り組みが食品業界においても必要となっております。また、台風をはじめとした自然災害が農作物及び日常生活へ大きな影響をもたらしました。当社においても、多様化する食のニーズに対する提案と食の安全性の担保に加え、持続可能な食への取り組みが課題となっております。

そのような変化の中、当社は「農家と地域が喜ぶ仕組みをつくる」をテーマに掲げ、前期の成果を活かし、既存ビジネスの収益構造の改善と新しいビジネスモデルの確立の双方に取り組んでおります。当期におきましては、地域食材を使用した「千葉県白子町の新玉ねぎをつかったハンバーグ」、「京都府亀岡市曾我部町産特産品 ○曾（まるそ）玉ねぎを使ったスープ」や地域の筍ごはん・栗ごはんシリーズをはじめとする地域商品については順調に成長しております。一方、ミートボール及びハンバーグ等のプライベートブランド商品を中心に売上の減少が続いており厳しい状況となりました。

また、様々な地域において当社の新たなブランド価値を向上させる取り組みを強化いたしました。そのため、ブランディング費用の増加等により販売費及び一般管理費が増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は46億64百万円（前年同期比1億10百万円減）となりました。販売費及び一般管理費が18億56百万円（前年同期比62百万円増）となり、1億18百万円の営業損失（前年同期は39百万円の損失）となりました。また、経常損失は1億17百万円（前年同期は45百万円の損失）となりました。これに、特別利益、特別損失及び法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億30百万円（前年同期は42百万円の損失）となりました。

製品別業績の概況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

製品別売上高	前第2四半期連結累計期間 (2018. 4. 1～2018. 9. 30)		当第2四半期連結累計期間 (2019. 4. 1～2019. 9. 30)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	趨勢比
		%		%		%
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	4,295,314	89.9	4,186,927	89.8	△108,387	97.5
惣菜	328,049	6.9	298,918	6.4	△29,130	91.1
非常食	60,668	1.3	49,897	1.1	△10,770	82.2
地域商品	36,804	0.8	78,916	1.7	42,111	214.4
配慮食（食物アレルギー・減塩他）	22,129	0.4	24,683	0.5	2,553	111.5
その他	32,369	0.7	25,012	0.5	△7,356	77.3
合計	4,775,336	100.0	4,664,355	100.0	△110,980	97.7

（注）製品別売上高の区分の変更

前第2四半期連結累計期間の当社グループの製品区分は、「食肉加工品（ハンバーグ・ミートボール他）」「炊き込みご飯の素・まぜご飯の素」「惣菜（サラダ・煮物他）」「非常食」「配慮食（アレルギー・減塩他）」「地域商品」「その他」の区分に分類しておりました。当第2四半期は製品区分の見直しを行い、「炊き込みご飯の素・まぜご飯の素」及び「惣菜（サラダ・煮物他）」を「惣菜」として一括表示するとともに、「配慮食（アレルギー・減塩他）」「地域商品」「その他」の一部製品を「惣菜」区分に変更いたしました。

前年同期比については、前第2四半期連結累計期間に遡って製品区分の変更を適用して算定しております。

食肉加工品において、量販店チャネルで販売している主力のミートボール群及びハンバーグ群のナショナルブランド商品の売上高は前年並みとなりましたが、低価格のプライベートブランド商品の売上高が価格競争の影響により大きく減少いたしました。この結果、食肉加工品の売上高は前年同期比で97.5%となりました。

惣菜において、炊き込みご飯については、期間限定で、千葉県大多喜町産、京都府京丹波町産、佐賀県唐津市産の筍ご飯を発売しました。栗ごはんについても百貨店等で、9月より京都府京丹波町、茨城県笠間市、埼玉県日高市、千葉県成田市、岐阜県山県市、熊本県やまへ村の6地域の商品販売を開始し、好調に推移しております。しかし、冷凍食品等で不採算商品の整理を行った結果、惣菜の売上高は前年同期比で91.1%となりました。

地域商品においては、季節限定で販売している各地域の旬の食材を生かした「千葉県白子町の新玉ねぎをつかったハンバーグ」、「茨城県筑波山麓の玉ねぎを使ったハンバーグ」等に加え、「京都府亀岡市曾我部町産特産品 ○曾（まるそ）玉ねぎを使ったハンバーグ」、「京都府亀岡市曾我部町産特産品 ○曾（まるそ）玉ねぎを使ったスープ」等の新商品を発売しご好評をいただきました。この結果、地域商品の売上高は前年同期比で214.4%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は73億19百万円（前連結会計年度末比10億45百万円減）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少8億69百万円、売掛金の減少1億20百万円、有形固定資産の減少93百万円です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は37億62百万円（前連結会計年度末比8億46百万円減）となりました。主な要因は、買掛金の減少1億81百万円、短期借入金の減少5億円、未払費用の減少1億35百万円、その他流動負債の減少25百万円です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は35億56百万円（前連結会計年度末比1億99百万円減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上1億30百万円、配当金の支払50百万円です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は24億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億69百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は2億54百万円（前年同期は18百万円の減少）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失の計上、減価償却費の計上、売上債権の減少、仕入債務の減少及びその他負債の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は52百万円（前年同期は59百万円の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は5億63百万円（前年同期は64百万円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の返済による支出、配当金の支払額です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,323,639	2,453,718
売掛金	1,374,784	1,253,978
商品及び製品	65,609	68,555
仕掛品	12,661	18,167
原材料及び貯蔵品	148,134	161,971
その他	40,859	68,903
流動資産合計	4,965,689	4,025,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,133,099	1,080,444
機械装置及び運搬具(純額)	732,945	679,254
工具、器具及び備品(純額)	24,000	20,438
土地	904,052	904,052
リース資産(純額)	76,842	87,400
建設仮勘定	—	5,620
有形固定資産合計	2,870,940	2,777,211
無形固定資産	21,075	22,901
投資その他の資産		
投資その他の資産	556,050	543,030
貸倒引当金	△48,916	△48,916
投資その他の資産合計	507,133	494,113
固定資産合計	3,399,149	3,294,226
資産合計	8,364,839	7,319,521
負債の部		
流動負債		
買掛金	474,804	293,440
短期借入金	1,060,000	560,000
1年内償還予定の社債	—	500,000
未払費用	720,483	585,139
未払法人税等	25,282	22,569
賞与引当金	80,787	86,413
その他	153,633	128,021
流動負債合計	2,514,991	2,175,583
固定負債		
社債	1,300,000	800,000
退職給付に係る負債	568,487	552,827
資産除去債務	23,153	23,165
長期未払金	139,894	139,894
その他	62,620	71,481
固定負債合計	2,094,156	1,587,369
負債合計	4,609,148	3,762,952

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,450,897	2,269,536
自己株式	△310,806	△310,806
株主資本合計	3,732,492	3,551,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,608	24,357
退職給付に係る調整累計額	△11,410	△18,919
その他の包括利益累計額合計	23,198	5,438
純資産合計	3,755,690	3,556,569
負債純資産合計	8,364,839	7,319,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,775,336	4,664,355
売上原価	3,020,146	2,926,454
売上総利益	1,755,189	1,737,900
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	302,771	316,632
退職給付費用	30,846	18,161
賞与引当金繰入額	37,161	41,259
支払手数料	118,648	159,837
運搬費	548,814	541,027
販売促進費	219,948	221,172
その他	536,109	558,298
販売費及び一般管理費合計	1,794,301	1,856,390
営業損失(△)	△39,111	△118,489
営業外収益		
受取利息	68	68
受取配当金	1,029	809
廃油売却益	7,352	7,215
その他	5,007	5,259
営業外収益合計	13,458	13,353
営業外費用		
支払利息	8,391	6,652
たな卸資産廃棄損	11,125	5,204
その他	410	401
営業外費用合計	19,926	12,258
経常損失(△)	△45,579	△117,394
特別利益		
投資有価証券売却益	498	681
特別利益合計	498	681
特別損失		
固定資産処分損	408	1,533
投資有価証券評価損	—	4,577
特別損失合計	408	6,111
税金等調整前四半期純損失(△)	△45,490	△122,824
法人税等	△2,952	7,906
四半期純損失(△)	△42,537	△130,730
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,537	△130,730

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△42,537	△130,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,275	△10,250
退職給付に係る調整額	24,751	△7,509
その他の包括利益合計	12,476	△17,760
四半期包括利益	△30,061	△148,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,061	△148,490
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△45,490	△122,824
減価償却費	162,995	161,388
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,245	5,625
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,090	△23,169
受取利息及び受取配当金	△68	△878
支払利息	8,391	6,652
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,577
投資有価証券売却損益(△は益)	△498	△681
固定資産処分損益(△は益)	408	1,533
売上債権の増減額(△は増加)	△83,137	120,805
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,224	△22,289
仕入債務の増減額(△は減少)	15,507	△181,364
未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少)	△7,330	△1,091
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,860	△6,933
その他	△15,063	△184,955
小計	18,964	△243,605
利息及び配当金の受取額	5,538	6,338
利息の支払額	△8,413	△6,665
法人税等の還付額	37	—
法人税等の支払額	△34,613	△10,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,486	△254,470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	882	1,499
投資有価証券の取得による支出	△1,397	△1,066
有形固定資産の取得による支出	△60,296	△47,583
無形固定資産の取得による支出	—	△3,156
従業員に対する貸付けによる支出	—	△1,764
その他	1,156	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,656	△52,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	560,000	560,000
短期借入金の返済による支出	△560,000	△1,060,000
リース債務の返済による支出	△11,678	△12,800
配当金の支払額	△52,515	△50,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,193	△563,431
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△142,336	△869,920
現金及び現金同等物の期首残高	3,727,196	3,323,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,584,859	2,453,718

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。